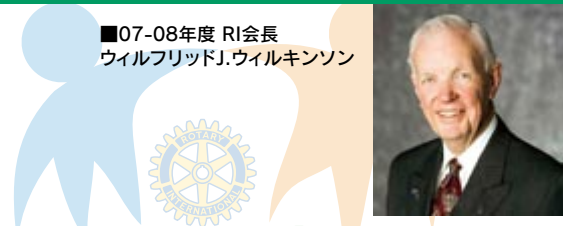




# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)



## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30  
 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054  
 ■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

### 第791回

2007年10月23日(火) 晴 第15回

～職業奉仕月間～ ～米山月間～

斉唱 我等の生業  
 出席 会員 75 名 (出席率算入人数 66 名)  
 出席 55 名 出席率 83.33%  
 前々回補填率 98.48% (10月9日分)  
 ゲスト 名古屋市長 松原 武久氏

#### ◆会長あいさつ◆

皆さん、こんばんは。今日は市長をお迎えして、楽しい例会を催えることを感謝申し上げます。今日はあいさつなしにして、市長の卓話をゆっくり楽しんでいただきたいと思います。

会長 大隅 紀郎さん



#### ◆幹事報告◆

1. 所在地域の変更がRIより承認されました。名南ロータリーは南区、緑区を対象としていましたが、これから愛知県全市町村が対象となります。  
 2. 次回例会は今週の土曜日、秋の家族会です。変更になっておりますので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。

幹事 杉山 隆秀さん

#### ◆ニコボックス◆

\*松原市長の卓話楽しみにしています。

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 平沼 里子さん | 加藤 英敏さん | 犬飼りさ枝さん |
| 川村 繁生さん | 堀田 光江さん | 野々村憲吾さん |
| 白藤 憲雄さん | 柴田 照子さん | 細井 俊男さん |
| 菊岡深智子さん | 山崎 淳さん  | 江村 雅夫さん |
| 田中 省三さん | 細井 俊男さん | 三浦 和人さん |
| 伊藤 圭一さん | 佐々木元彦さん | 松岡 明さん  |
| 鈴木 享さん  | 小山 慎介さん | 大隅 紀郎さん |
| 金原 匡彦さん | 杉本 勇さん  | 水野 俊男さん |
| 浜田 忠盛さん | 三浦 隆さん  | 伊東 博昭さん |
| 鈴木 厚司さん | 林 正人さん  | 久米 伸治さん |
| 木村 猛さん  | 鈴木 清詞さん | 加藤 宜之さん |
| 森田敏二三さん | 大橋さなえさん | 小野 雅之さん |
| 森 昭勝さん  | 佐々木 眞さん | 鈴井 一博さん |
| 長尾 浅吉さん | 朝比美和子さん | 榊原 和美さん |
| 中西 芳子さん | 水谷 誠さん  |         |

\*松原市長様をお迎えして。

坂田 信子さん

\*東南RCとの合同囲碁会で名南の林さんが優勝されました。おめでとうございます。 浅井 浩さん  
 \*初孫が生まれました。 杉山 隆秀さん  
 \*二週間のニューヨークビジネスでようやくジェットラゲが解消した処です。 東山 直史さん  
 \*食欲の秋、日本の食文化は深い！ 小坂井重樹さん  
 本日合計 65,000円 累計 753,000円

#### ◆委員会報告◆

●親睦活動・家族委員会 山崎 淳さん  
 本日、忘年家族会のご案内と、4ロータリー合同ゴルフコンペの組み合わせ表をお渡ししました。コンペで伝票に書かれる場合は、必ず名南ロータリークラブとご記入ください。

●ロータリー財団委員会 委員長 三島多恵子さん  
 ロータリー財団管理委員会より、三浦隆さんにマルチプルポールハリスフェローのピンをいただきました。



#### ●川辺 清次さん

私が所属している愛知建築士会で、「まちづくり講演会・シンポジウム」を11月10日土曜日、1時半から4時半まで、東区の愛知芸術文化センターで予定しております。テーマ「本丸御殿から市民を巻き込むまちづくりへ」、サブテーマ「なにか面白いまちづくり」ということで、夢童由里子さんの講演会をして、それからシンポジウムを行います。会費は無料です。

#### ◆外部卓話◆

##### ●名古屋市長 松原 武久氏

今日は皆様に名古屋城の本丸御殿の復元に関して、やや正攻法的に話をさせていただきたいと思っております。皆さん、格付けで有名な、ミシュランというタイヤメーカーをご存じでしょうか。今、ミシュランが日本の各都市にあるもの(美術館、博物館、都市のある地域の景観など)に星を付けております。「必ず見るべき」が三つ

#### 第793回例会(11月6日)のご案内

クラブフォーラム「ロータリー財団月間卓話」  
 地区ロータリー財団委員長 深谷 友尋氏

星で、「とりたてて見なくてもいいけども、見たほうがいい」が一つ星、その中間が二つ星。名古屋市内では徳川美術館が三つ星になっております。それから、ブランド研究所が行っております、都市のブランド力調査では名古屋は15番目になっております。北海道は、札幌、函館、小樽と、ベスト5の中に三つ入っていて、ベスト10になりますと、富良野が入ってきます。都市の力からいって、これはとても理不尽な順位です。名古屋はブランド力を上げなきゃならないと、私は思っています。



先日、日本発明協会の総裁でいらっしゃいます常陸宮が、この地域の発明および特許の取得件数が、日本では東京に次いで多いということで名古屋においでになりました。今、科学館を事務局にして少年少女発明クラブをやったり、また、世界最大のプラネタリウムを造るなどして、科学館の再生に取り組んでおります。そういったことをして、名古屋のステータスあるいはブランド力を上げていこう、こんなふうに使っています。私は、本丸御殿も、ブランド力を上げるものの一つだと思っています。日本の匠の技の結晶で、これを造り上げるということがとても大事だと思っています。

本丸御殿は、木曽ヒノキを使って造ります。ヒノキという大切な財産を使わせていただく一方で、市民の手で育てた実生のヒノキの苗を木曽の山々に植樹して、「平成の名古屋の森」を作り、200年後の本丸御殿の修復材に使おうという、大変壮大な計画に取り組んでいるところです。

ヒノキというのは、皮があって、皮のすぐ下のところは白い木です。これは白木（しらた）といいまして、材質的に弱いので、構造材として使えません。その白い部分を取って、赤身の部分だけ取り出し、40センチの幅の正目を取ろうといたしますと、だいたい直径が90センチぐらいあるヒノキでないと取れないわけです。正方形の、四面が正目の柱というのは、なかなか取れません。そういう材を用意するということが、まず大事になります。それから、面積でいっても、本丸御殿は平屋で3,000平米です。容床面積でいうと世界最大の木造建築物ということになります。これは、皆様がたのご理解が進みまして、かなり基金が集まり始めたので、来年から復元工事を始めたいと思っています。

さて、なぜ本丸御殿のような大きな御殿が名古屋にあったのでしょうか。これには、尾張徳川が当時の幕藩体制の中で特別な地位にあったことをご理解いただきたいと思えます。尾張の初代の殿様、義直というのですが、義直は家康の九男坊です。家康は將軍家に次ぐ位として、御三家を作りました。筆頭が尾張藩、次が紀伊の和歌山。そして水戸、この三つが御三家になりました。

義直は1607年、清須の殿様になりまして、7歳で尾張藩主になったわけですが、領地を將軍からもらったときに、「一円領知状」という大変有名な領知状をもらったのです。例えば、加賀の百万石は石高が書いてありますが、尾張の領知状には石高が書いてない。「あなたのところの領地は尾張一円」と書いただけのをもらいました。これは「一円領知状」として大変有名です。現在、徳川美術館に秀忠が書いた本物が残っております。

各大家は將軍が変わるごとに、本領安堵してもらうために江戸幕府まで出かけていって安堵状をもらうわけですが、尾張藩は、徳川幕府260年を通じて1回も領知状の再発行を受けておりません。1607年に義直が尾張の殿様になったときに1回ももらっただけで、更新は

なしということですから、代々、本領を安堵された、きわめて特異な存在でありました。

それからもう一つ大変大事なことは、本丸御殿ができた1615年、義直が15歳のときに、紀州の浅野からお姫様をもらっています。そのときに、家康は義直に、春姫の輿入れの化粧料として、木曾の山を与え、同時に、長良川と木曾川の川筋の権利を全部尾張藩がもらいました。それで、名古屋は木材の一大集散地になり、木材を使ったからくりや、からくりから発展したいくつかの機械ができていった、その素地になったわけです。

当時、川を使って木曾の良質の木が名古屋に集まりましたから、名古屋は木材の一大集散地になりました。尾張藩の石高は六十一万九千石、それに、木曾の山々の実力を加えますと、優に百万石を超えていたということです。それだけ力のあったところだから素晴らしい御殿を造れたのでしょ。

それからもう一つ大事なことがあります。三代將軍の家光は生まれながらの將軍で、大変権威を持っておりました。家光が上洛をする時に、「名古屋城で2泊する」という連絡が来たのです。それで、二の丸御殿に生活の場を移したことにより、空き家となっていた本丸御殿を取り壊して、上洛殿という迎賓館を作りました。將軍がおいでになったときに、そこで気持ちよく休んでいただくというわけです。

上洛殿は、格式を持たせるための飾りつけをしました。当時、一番実力のあった、狩野探幽という絵師が將軍家から派遣されて、名古屋城の本丸御殿を飾りました。狩野派の宗家は別にいるのですが、一番実力があり、油の乗った探幽に描かせたわけです。だから、京都二条城の二の丸御殿に匹敵すると、我々は謙遜して言っていますが、本心は「二の丸御殿はたいしたことない、本丸御殿の障壁画のほうがはるかにすごい」と思っております。

例を挙げますと、ふすまの取っ手の飾り金具は、普通真ちゅうか何かで作りますが、それがきれいな金象嵌にしてあって、その中に七宝がちりばめてあります。そういうものが、一つ一つ全部模様を描いて作ってあるんです。それから、本丸御殿の棧は通常より太く、それに黒漆が塗ってあって、金蒔絵がしてあります。その蒔絵ひとつ取っても、一つ一つが芸術品というものです。

ですから、本丸御殿の建設費はだいたい150億円ぐらいかかります。こう言うと「そんなぜいたくなものを」という話になりますが、これは調度も、絵も全部入れた金額です。これができたときに、ミシュランによく見せて、三つ星をもらおうと思っているところです。もちろんこれだけのものは今後日本ではどこでもできないし、50年たったら必ず世界遺産になると私は思っています。また、皆さんには格別のご協力をお願いします。ありがとうございました。

#### …………… 目録贈呈・感謝状拝受 ……………

##### ●会長 大隅 紀郎さん

本日は大変貴重なお話をいただきました。感謝の意を込めて、本丸御殿基金に寄贈したいと思えます。「目録、金一百万円也、右、名古屋城本丸御殿基金として贈呈いたします。名古屋名南ロータリークラブ会長大隅紀郎。名古屋城本丸御殿基金殿」

##### ●名古屋市長 松原 武久氏

「感謝状、名古屋名南ロータリークラブ様。貴団体は名古屋城本丸御殿復元に深いご理解を寄せられ多額の金員を寄付されましたので、深く感謝の意を表します。平成19年10月23日名古屋市長松原武久」